

【農道一現況調査計画作業項目内訳表】《基本設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 現況調査			
1-1 地域の概況	資料を収集整理し地域の概況を把握する。		
1-2 地域及び土質、地質	土質、地質資料を収集整理し地域の土質、地質の概況を把握する。		
1-3 路床、材料調査	貸与資料による。		
1-4 土地利用営農状況調査	貸与資料を基に、市町村、ブロック別に土地利用、営農状況を整理し、図面を作成する。		
1-5 道路、鉄道概況及び 交通量調査	交通量について現地調査を行い現有資料を補足する。 （補足説明） 交通調査は、観測日数N日、調査地点数Pカ所とする。 なお、調査時期、調査カ所については打合せ時に協議して指示する。		
1-6 農地転用及び農業の動向	関係市町村の基礎資料を整理して、市町村別農地転用、農業の動向を把握する。		
1-7 気象、水文、 経済効果等資料収集	関係機関から資料を収集し、現有資料を補足する。		
1-8 各種振興計画資料収集	関係機関から資料を収集し、現有資料を補足する。		
2 計画			
2-1 区域の設定	図上で計画区域を設定する。		
2-2 土地利用計画	土地利用の調整等諸検討を行い、土地利用計画を策定し、農業振興土地利用図を作成する。		
2-3 営農組織計画、 管理体制整備計画	広域整備計画に基づき、営農組織、管理体制整備を計画する。		
2-4 近代化施設整備計画	関係市町村の整備計画を聞き取り、それらを整理して、農業施設図を作成する。		
2-5 道路網整備計画	関係市町村の資料を基に、道路網を計画し図面を作成する。		
2-6 基幹農道計画	諸検討をもとに基幹農道計画の大綱を定める。		
2-7 関連事業の整理	関連事業及び他部門事業等の整理を行う。		
2-8 計画交通量	所定様式により、生産資材、生産物、通作、流入交通量等を整理、算定する。		
2-9 経済効果	所定様式により、生物生産・品質向上・維持管理費節減・営農にかかる走行費節減・一般交通経費節減についての効果、及び総費用を算定し、総便益費を求める。 （経済効果算定に必要な図面・資料作成を含む。）		
2-10 路線配置計画	農業団地、農産物輸送の中核施設に集積された農産物を、最も経済的に輸送し得る路線を、数学的係数的に求める。		
2-11 計画図	計画一般平面図を作成する。		